

# ふくやま 公衛協だより

第27号 回覧  
2024年9月

健康づくり・環境保全・温暖化防止活動

福山市公衆衛生推進協議会

会長 園尾 俊昭

〒720-8501 福山市東桜町3番5号  
福山市まちづくり推進部まちづくり推進課内  
TEL084-928-1051

## 2024年度(令和6年度) 福山市公衆衛生推進協議会総会

### 福山市公衆衛生推進協議会 総会



5月31日(金)、福山市役所大会議室において福山市公衆衛生推進協議会総会が開催されました。各学区の代議員と理事及び受賞者、合わせて106名が参加されました。(福山市の総会は、理事及び代議員合同で行うことになっています。)

総会では園尾会長の挨拶の

後、福山市公衆衛生推進協議会表彰規定に基づき、公衆衛生推進委員を7年以上継続し、かつ、公衆衛生活動に貢献した19名の方に、園尾会長から、感謝状が授与されました。(表彰者のお名前は2ページに掲載)

来賓を代表して、枝広直幹福山市長、大原博福山市自治会連合会会長から挨拶をいただき、参加の行政職員の紹介の後、広島県環境保健協会(以下、環保協という)地域活動支援センターの中村博信センター長から挨拶をいただきました。

続いて議長に、竹尋学区坂本勝美理事を選出して議事に入りました。第1号議案 2023年度事業報告並びに事業会計収支決算・まちづくり基金決算及び監査報告について、第2号議案2024年度活動目標(案)・事業計画(案)及び2024年度事業会計収支予算(案)について、第3号議案2023年度地区衛生組織資金募集(環境・健康募金)実績報告及び2024年度計画(案)について、第4号議案役員を選出(案)について、審議し原案通り承認・決定しました。

総会後に、基礎研修「公衆衛生推進委員会の歴史」を学習したのち、環保協中村センター長から、全県共通事業重点メニューの「STOP!フレイル事業」と「食品ロス削減事業」の紹介・説明がありました。次に、学区等からの申請により取り組むことが可能な、「学習教材貸出事業」と、監視カメラや看板を支給する事業「見てますよ!不法投棄抑制の地域づくり事業」の説明がありました。後者は、今年度が最後の予定です。最後に、公衆衛生の推進を担う人材の育成・力量アップを目指す研修事業の取り組みや「環境と健康のポスター・標語コンクール事業」に対する今年度の取り組み状況等について説明がありました。



### 役員体制

会 長	園尾 俊昭	(道上)
副 会 長 (兼事務局長)	村田 政雄	(有磨)
副 会 長 (兼会計)	宮宗 弘光	(赤坂)
副 会 長	小林 乙也	(樹徳)
副 会 長	大和 智廣	(本郷)
副 会 長	渡壁 和則	(横島)
副 会 長	原 敬二	(大谷台)
監 事	三宅 信太郎	(戸手)
監 事	甲斐 勝	(神辺)

### 目 次

公衛協総会	1
役員体制	1
理事、表彰者紹介	2
基礎研修	2
ブロック紹介	3
第62回夏季大学	4
募金のお礼	4
編集後記・広報委員	4

## 常任理事紹介（役員を除く）敬称略

（常任理事は各学区の理事からブロックごとの定数により選任されます。）

小林 康喜（新涯）	小林 哲仁（川口）	金尾 富子（光）	野間 晴夫（手城）
三吉 繁夫（旭丘）	岩井 信男（千田）	松本 睦夫（坪生）	村上 淳（鞆）
下村 恒司（熊野）	平川 輝司（新市）	長久 信男（駅家東）	瀧口 誠（常金丸）
前市 正詔（松永）	小林 英志（神村）	兼田 邦洋（田島東部）	菅田 憲蔵（御野）
坂本 勝美（竹尋）		会長・副会長7名を含め	合計 24名

## 新理事紹介 敬称略

（今年度は改選期ではないので新任だけ紹介します。）

猪木 勝久（川口東）	眞田 康幸（箕島）	中島 愛子（久松台）	岩崎 勲（西深津）
本瓦 公一郎（長浜）	松本 睦夫（坪生）	岸田 直樹（日吉台）	寺山 武士（水呑）
占部 光利（高島）	笠原 一彦（山野）	岩本 和浩（高西）	以上 11名

## 表彰を受けられた方（7年以上継続）敬称略

黒瀬 敏正（旭）	森元 幸美（西）	栗原 寛（西）	岸守 良雄（西）
迫 涼二（川口東）	村上 忠孝（箕島）	眞田 康幸（箕島）	門田 光正（箕島）
小島 一人（千田）	藤井 二郎（千田）	高橋 郁夫（大津野）	水島 誠（伊勢丘）
大瀨 武彦（鞆）	中土井 一成（駅家）	三谷 竹志（松永）	兼田 邦洋（田島東部）
平井 香苗（千年）	川合 章仁（神辺）	坂本 英治（道上）	以上 19名

## 基礎研修「公衆衛生推進委員会の歴史」の内容

### 1 福山市公衆衛生推進協議会と広島県環境保健協会の関係について

昭和20年代に、地域の公衆衛生活動のため、県の要請で地区衛生組織が作られ、1957年（昭和32年）に、広島県内の公衆衛生組織が集まって、広島地区衛生組織連合会（県衛連）が結成された。事務局は広島県衛生部公衆衛生課内に置かれた。これが今、一般財団法人広島県環境保健協会になっている。

### 2 公衆衛生推進委員について

公衆衛生推進協議会・委員会は、1956年（昭和31年）頃は、県知事の委嘱となっていたが、1966年（昭和41年）には、各地域で選出された人を福山市長が委員として委嘱するようになった。委員と地域に活動資金・手当が交付されていた。

2006年（平成18年）から「協働のまちづくり」が始まり、委員手当として支給されていた資金は、2008年（平成20年）から、各学区のまちづくり推進委員会に、追加して予算配分されるようになった。そして、各まちづくり推進委員会の活動に、公衆衛生推進委員も参加することになった。

### 3 環境・健康募金について

環境・健康募金の正式名称は、地区衛生組織活動資金募集。1960年（昭和35年）4月7日の世界保健デーを「健康感謝の日」として定め、募金を開始した。募金の使い道は、地区公衆衛生推進協議会・委員会が定めることとなっている。募金の30%は、県内の地域をまたがった事業などや事務経費として環境協に残し、70%が市町に配分される。学区・地区に配分された募金は、学区・地区の公衆衛生推進活動を進めるために使うことができる。公衆衛生推進活動以外に転用することはできない。